

令和5年12月21日

大鰐町長 山田年伸 殿

大鰐町新庁舎建設検討委員会  
委員長 遠藤 哲哉

大鰐町新庁舎建設にかかる建設候補地及び庁舎の規模について（答申）

令和5年11月1日付け、鰐企観第263号で諮問のあった大鰐町新庁舎建設にかかる建設候補地及び庁舎の規模について、当委員会において審議し、結果を取りまとめたので、下記のとおり答申いたします。

## 記

### 1 建設候補地について

建設候補地については、「まちづくりの整合」「災害危険度」「事業性」を考慮する必要があります。3カ所の候補地について比較検討を行った結果、現大鰐町役場を候補地として選定します。選定理由としては、町民アンケートの結果において現庁舎の場所が良いという意見が多く、町民にも馴染みがあり、親しみやすい場所であるためです。また、平川浸水想定区域外であり、土砂災害警戒区域を避けた配置とすることで、災害リスクが最も低い場所となるためです。

### 2 庁舎の規模について

庁舎の規模については、今後の人口減少等を踏まえコンパクトな庁舎とし、事業費及び維持管理費を縮減するため3,000㎡以下とします。また、庁舎に求める機能については、町民が親しみも持って気軽に利用しやすい庁舎とするとともに、まちづくりや交流の拠点として集う場所とすることを望みます。